

「南房総・館山地域公共交通計画」(原案)に関するパブリックコメント実施結果について

南房総市総務部企画財政課

1 目的

南房総市及び館山市では、2市が連携し、効果的・効率的に公共交通の維持・確保に取り組むため、令和元年10月に合同の協議会を立ち上げ、利便性が高く持続可能な公共交通体系の形成を目的とする2市合同の地域公共交通計画を策定することとしました。本計画は、地域の特性やニーズを的確に捉えた公共交通ネットワークの構築に向けた取組について、目標や方向性、関係者等の役割、各種事業スケジュール等を明確にした、実効性のある計画を目指し、南房総・館山地域公共交通活性化協議会での意見等も踏まえた「南房総・館山地域公共交通計画」の原案をとりまとめ、これについて市民の皆様から御意見をいただくため、パブリックコメントを実施しました。

2 実施期間

令和3年6月25日(金)から令和3年7月26日(月)までの32日間

3 周知方法

- (1) 広報みなみぼうそう7月号にパブリックコメントの実施について掲載
- (2) 南房総市役所本庁舎、朝夷行政センター及び各地域センターで計画(原案)の閲覧を実施
- (3) 館山市役所、館山市図書館、館山市コミュニティセンターで計画(原案)の閲覧を実施
- (4) 南房総市及び館山市ホームページに計画(原案)を掲載
- (5) JR館山駅、ジェイアールバス関東(株)館山駅バス待合所、日東交通(株)館山駅前バス待合所、南房総市安房白浜駅で計画(原案)の閲覧を実施

4 意見の提出状況

意見の提出者 4人(29件)

5 意見の概要と意見に対する考え方

該当箇所	意見の内容	意見に対する考え方
P15	南房総市内の各駅にバリアフリー施設がないと記載があるが、岩井駅には、事前に館山駅に連絡すれば跨線橋を使わなくて済む専用のスロープ設備があるため、このことをきちんと記載願いたい。	②説明文の最後に下記の文を追加いたします。 ※岩井駅では、館山駅へ事前連絡することによりホーム脇のスロープを利用することができる。
-	計画案のアンケートによれば、鉄道・高速バスとも、都心から直通の要望が多い。特に来訪者からの声を見た場合、特急列車を含めた都心からの直通列車の必要性があると考え	今後も、需要に応じた質の高い都市間移動サービスの提供を交通事業者とともに協議、検討していきます。
-	館山市地域公共交通網形成計画に示されているとおり、高速バスにおいて、富楽里から館山・白浜方面の末端区間を乗降可能とすること。	本計画案 79 ページの中に、利便性向上策として、「高速バスのエリア内相互利用により既存公共交通網の補完・拡充を図る」を盛り込んでいるため、計画案の修正は行わないこととします。
-	一部の高速バス路線において、安房地域医療センター及び三芳分庁舎発着又は両施設で停車する便の創設や季節扱いとして小松寺（旧千倉町）への臨時停車を盛り込むこと。	ご指摘の施設等への停車については、動向を見ながら交通事業者とともに協議、検討していきます。
-	館山鴨川線において、IC カード対応の車両については、IC 決済の利用を可能とすること。	キャッシュレス決済については、本計画案の 80 ページにも「導入検討」を盛り込んでおり、交通事業者とともに引き続き導入検討を進めてまいります。なお、ご指摘の「IC カード対応車両については IC 決済を可能とすること」については、運行事業者にご意見の内容を伝えます。
-	館山市内線については、なむや・小浜から館山駅（一部那古海岸・イオン経由）の系統と、航空隊から館山駅・那古・三芳分庁舎・安房地域医療センター・館山駅を通り航空隊に戻る循環系統の 2 つに分割し、後者の循環系統はデマンド扱いで那古健人館を経由すること。	本計画案 70 ページに、地域間幹線系統の維持を掲げており、館山市内線についても、利用動向を見極め、必要な見直しを図っていくこととしています。
-	丸線・平群線については、三芳分庁舎発着とし、三芳より先は丸山大井をつなぐ循環路線にすること。	本計画案 72 ページに、「丸線・平群線の再編及び有効活用」として施策を盛り込んでおり、その中で、再編に向けた協議検討を進めていくこととしています。
-	白浜千倉館山線-豊房線、館山市内線（なむや・小浜～館山駅）-豊房線の直通または循環便を開設すること。	各路線の効率的な運営と利用者の利便性を考慮し、路線の見直しを検討していきたいと考えています。

-	2021年1月から3月にかけて実証運行が行われた市街地循環バスと館山駅と三芳分庁舎を結ぶ2系統の循環路線の本格運行を目指すこと。	館山市街地循環バスについては、10月からスタートする再度の実証運行を踏まえ、本格運行について検討していきます。三芳分庁舎を結ぶ循環系統については、丸線・平群線の再編とあわせて検討したいと考えています。
-	那古船形、九重、千歳、和田浦の各駅については、郵便局との合築を目指すこと。また、2市の全ての駅において、災害時の一時的な避難所としての機能を備えるよう整備すること。	郵便局との合築や避難所機能を持たせることについては、ニーズ等を踏まえ検討していきたいと考えます。
-	本年3月から内房線でワンマン列車が運行を開始されたが、特に高齢者、介助が必要な方が安全に利用でき、かつ、各駅で別の交通機関への乗継が円滑に行えるよう配慮、整備を行うこと。	高齢者や要介助者が安心して利用できる環境づくりについては、千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じ、JRに要望しているところです。また、他の交通機関との乗継利便性向上については、本計画案の75ページに記載しているところで、引き続き交通事業者とともに利便性向上に努めます。
-	バスターミナル、鉄道駅それぞれにパークアンドライド駐車場整備を民間の協力も得ながら推進すること。なお、「ちば障害者等用駐車区画利用証制度（パーキングパーミット制度）」について、駐車場整備の中で推進すること。	今後、駐車場整備等を行う場合は、障害をお持ちの方への配慮を十分に行うこととします。
-	将来的には、安房4市町共同の計画が必要と考える。	安房郡市共同の計画策定については、今後の動向を注視しつつ検討していきたいと考えています。
-	【高速バス】 高速道路が整備され安価でかつ便数も多く東京や千葉から往復できるため、コロナ禍後も主要な移動手段として益々充実させていくべきです。アクアラインを含め景色も素晴らしくバスそのものを観光資源としてもっとPRしてはどうでしょうか。また、安房地方に入り降車専用となりますが、乗車も可能として在来線とMIXさせることも一考に値すると思います。そして館山駅から房総各地域への増便も望みます。	本計画案79ページの中に、利便性向上策として、「高速バスのエリア内相互利用により既存公共交通網の補完・拡充を図る」を盛り込んでいるため、引き続き交通事業者とともに利便性向上に向けて検討していきます。
-	【JR内房線】 上総湊以南の車窓から見える東京湾は安房出身者の原風景であり観光資源です。利用者減少に伴い残念ながら特急電車を含め削減が進んでいますが、JRは私企業であり採算面から減ることはあっても増便は厳しいと思います。交通機関のハブとしてバス等他交通機関との連結及び観光資源としての駅舎（周辺含む）の充実を望みます。	本計画案78ページに、事業7として「鉄道（JR内房線の安全性確保・利便性向上）の利用促進」を記載しております。利用促進策や駅舎の利活用、利用環境の改善等を交通事業者とともに検討していきます。

-	【バスローカル線】高速バスや内房線、他のローカル線とのタイムラグを減少させる努力は当然ですが、日々の生活の足とともに観光資源の観点から車両のデザインやサービス等整備を考えるべきではないでしょうか。キャッシュレスやスマホ等による運行状況の見える化、雨や夏の直射日光を避けられる屋根やイスのあるバス停づくりも必須の取り組みであると思います。	本計画案 80 ページに、事業 9 として「利用しやすい・利用したいと感じてもらえる環境の整備」を記載しております。各種環境整備について交通事業者とともに検討していきます。
-	公共交通機関の連結が一目でわかる時刻表やスマホで検索可能なインフォメーション整備があれば便利であるとも思っています。	本計画案 80 ページに、事業 9 として「利用しやすい・利用したいと感じてもらえる環境の整備」を記載しております。民間サイトへの情報提供や各種情報発信に努めます。
-	シェアカーの館山駅周辺における実験的配車が進んでいますが、自家用車削減の観点から人の集まる商業施設等での増車の取り組みを進めてはどうでしょうか。	シェアカーの取り組みについては、今後、ニーズ等を踏まえ関係者と意見交換を行っていきたくと考えます。
-	ロハスな生活や観光資源のために、海外に事例がありますが、一定の時期やエリアを限定して自家用車の乗り入れを禁止し公共交通だけに制限することも考えられます。	自家用車抑制の取り組みについては、地域の実情等を踏まえ関係者と意見交換を行っていきたくと考えます。
-	風光明媚な景観の中でサイクルツーリズムは今後益々期待される観光分野ですが、現状は自動車優先の道路となっています。安全、安心の観点からも地域を選定して自転車レーンの設置も必要であると思います。	サイクルツーリズムに関しては、各種連携も踏まえ関係者と意見交換を行っていきたくと考えます。
-	この計画の具体的事業の実施体制であるが、南房総市と館山市が縦割りのまま進まないことを心配している。機能的な事務局を構築してほしい。	実証事業実施等の際には、必ず 2 市が集まって打合せを開催するなど、連携が図れている状況です。今後も事業が停滞することのないよう、緊密かつ効率的な事務局運営を心がけます。
-	財政的な裏付けがないことから、実行が伴わない計画になると思う。国・県に対して、財政支援の拡充を要望してほしい。	ご指摘のとおり、事業実施には多額の予算が必要となることから、国・県への要望に加え、企業協賛やクラウドファンディングの実施、より低コストでの運営方法など、資金確保に向けた施策について検討していきたくと考えます。
-	高齢者の運転免許返納は千葉県が中心になって行うべきことである。千葉県には、更なる施策の充実を要望してほしい。	高齢者の運転免許返納促進に関しては、免許を返納しても生活が成り立つ仕組みの確立が必要と考えています。千葉県や国に対し支援を要請しつつ、2 市で移動困難者向け施策の充実を努めていきます。
-	千葉県 JR 線複線化等促進期成同盟であるが、同盟として要望した時の意見交換の内容が記されていない。意見交換の概要（双方確認の議事録など）を記載するか、JR と国土交通省の回答書をもらうように、期成同盟で検討してほしい。	いただいたご意見の内容については、千葉県の期成同盟事務局に伝えるとともに、2 市からも同盟活動の情報開示の強化を事務局に要望していきます。

-	<p>鉄道だが、高校生の通学時間帯は、2両のワンマン電車で混雑している。安全性も考え、ワンマンではない4両にするなどの対応をJRに要望してほしい。</p>	<p>2両編成の列車の混雑緩和については、2市から要望事項の1つとして期成同盟に提出したほか、館山市長からはJR千葉支社に対しても要望を提出しているところです。今後も状況を注視しつつ、より鉄道を利用しやすい環境づくりについて要望していきます。</p>
-	<p>館山市観光協会には来訪者の駐車場がないので、館山駅前の整備に合わせて、観光協会や案内所に用がある人のための駐車場を確保してほしい。</p>	<p>館山駅前の駐車スペース確保については、今後の検討課題とさせていただきます。観光協会来訪者をはじめ、JRや高速バスの切符購入者など、駅施設に用事がある人のニーズを把握し、整備計画に反映させるなどの検討を行っていきたいと考えます。</p>
-	<p>タクシー事業者の乗務員募集に行政も協力してほしい。</p>	<p>2市の雇用施策担当部署などとも連携し、採用活動の強化などについて検討していきたいと考えます。</p>
P48	<p>48ページに、「貨客混載事業を受け入れているが、千葉市内に到着後、各店舗までの輸送方法が確立されていない」とあるが、千葉市と連携するなど解決方法を模索してほしい。</p>	<p>貨客混載事業については、受け手側の多くが荷物を運ぶバス事業者のグループ会社等での販売・消費に限られている現状があります。また、本計画案79ページに、事業8として「高速バスの利用促進③貨客混載事業」を記載しておりますので、今後はより多くの販売ポイントや消費地を開拓すべく、交通事業者のみならず様々な団体等と連携していきたいと考えます。</p>
-	<p>【鉄道】 地域交通の中で鉄道の位置付けが明確でないと考える。折角二つの市が一緒になって地域公共交通の計画を策定するなら、JR内房線について、通勤や通院の足として重要な交通機関であり、その充実を図るための施策を明確にすることが必要と考える。JR内房線に関する施策の充実を望みます。</p>	<p>地域内の鉄道については、広域交通として、通勤・通学、買い物、観光など多様な目的に対応するよう位置付けています。また、本計画案78ページに「鉄道（JR内房線の安全性確保・利便性向上）の利用促進」として施策を盛り込んでおり、観光需要の取り込みをJRと連携して行っていくことや、利用者ニーズに合わせたダイヤの見直し、安全性の確保を継続してJRに要望していく旨を記載しており、これらの施策の中で利用者が減少している内房線の利便性確保や利用促進について取組を進めていきたいと考えています。</p>